

市島地域市立小学校統合準備委員会
第3回吉見・鴨庄・三輪地域部会 次第

日時：R4. 1. 24（月）19:30～

場所：ライフピアいちじま研修室

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 会議記録の確認

4 協議事項

- ① 統合後の校名・校歌・校章について
- ② 統合後の通学方法について
- ③ 統合後のアフタースクールの在り方について

5 次回部会の日程について

- ・日 時 月 日（ ）19時30分～
- ・場 所

6 閉 会

[illegible]

会議記録

令和3年12月15日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第2回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和3年12月14日（火）19:30～21:00
- 場所 ライフピアいちじま研修室
- 出席者 委員：坂谷高義、木寺章、湊上利美、由良英樹、加藤宏生、湊上智帆、
宇佐美大介、坂谷幸久、吉井公乃、足立圭造、内田順子、中澤正樹、田野悟
事務局：足立課長、井尻課長、船越係長、足立指導主事、小田指導主事、畑中

●内 容

1 今後の地域部会での協議事項及びスケジュールについて

事務局より、令和5年度に吉見小学校と鴨庄小学校が統合する場合の協議項目及びスケジュール案の説明を行った。

【意見等】

- ・PTAの役員が年度で変わるので、来年度の役員を統合準備委員に加える等の対応は可能なのか。
- 今後の協議の進み具合に応じて、対応を検討する。また、統合準備委員を交代せずに、PTAの新役員等に部会への報告のために適宜参加いただくという形をとることも可能である。（事務局）

2 吉見小学校及び鴨庄小学校の統合後における校名・校歌・校章について

【決定事項】

鴨庄地域の中で校名・校歌・校章について説明会を行い、意見を聞き、次回の部会でその結果を報告し、決定する。

【意見等】

- ・鴨庄地区では、地域の意見の集約がまだ終わっていないため、もう少し結論は待つほしい。
- ・地域ではいろんな意見があるが、校名・校歌・校章を変えると統合に時間を要するということも理解していただいている。
- ・昔の中学校の枠組みで、「竹山」「山東」という考えもあるが、今回の統合ではその名称にはこだわらずに考えていきたいと考えている。
- ・2校の校歌歌詞を一つにしたような校歌を作ることはできないか。
- ・将来的に市島小学校（仮称）になる場合の校歌を今の段階から作っておいて、それを採用することはできないか。
- ・スムーズな統合を考えたら校名・校歌・校章は吉見小学校のままでいい。しかし、校名・校歌・校章の全てを吉見小学校のものを採用すると、鴨庄小学校の児童が吉見小学校へ転校したように捉えることもできる。児童の中には鴨庄小学校の児童であることに誇りを持っている子もいると思うので、その子たちの心のケアについてももしっかり検討して欲しい。
- 新しい学校、良い学校を作っていこうという気持ちを持ち、保護者、地域、学校がそれぞれが協力していくことが大切だと考えている。

→鴨庄小学校では児童に統合協議の進捗状況を報告しており、「学校が無くなるのは寂しいが、子どもの未来を考えて決断をされた」ということを伝えている。しかし、一番の当事者である子どもたちは当然不安に感じることもある。その不安については学校の教育課程を工夫することで対応できることもあると認識している。保護者、地域、学校がそれぞれ協力しあいながら進めていくことが大切であり、今後とも協力いただきたいと考えている。

3 その他

次回の部会に向けて、今回提示した協議項目の中で、事前に伝えておきたいことや質問事項がないか委員の意見を伺った。

【意見等】

○通学方法について

- ・鴨庄校区のバス停はアフタースクールの場所の1カ所とし、アフタースクールを利用しない児童はそこから歩いて帰るという方法はどうか。
 - ・保護者はいろいろな意見を持っていると思うので、それを集約する必要がある。
 - ・学校としては安全面を考慮する必要がある。
 - ・吉見小学校区の地域の中で、鴨庄小学校区の一部の地域よりも吉見小学校から遠い地域がある。その場合、吉見小学校区の遠い地域の児童はバスに乗せてもらえるのか。
- 今後の協議にもよるが、スクールバスについては、まずは統合の影響を受ける鴨庄小学校区の児童の通学支援を優先的に考えたいと思っている。(事務局)
- ・通学支援について素案を出してもらい、保護者に意見を聞くのはどうか。
- 次回に通学支援の素案を提示する。(事務局)

○アフタースクールについて

- ・鴨庄地域では、小学校が廃校になることに加えてアフタースクールも無くなるのは寂しいという意見もある。
- ・鴨庄校区内にアフタースクールがあることによって祖父母が送迎等の支援をしやすいうという側面がある。

○今後の地域部会における三輪地区の関わり方について

- ・一部の具体的な項目を除き、PTAの統合などは三輪地区が統合する場合に影響があることが予想されるため、三輪地区も今後の協議に参加する。
 - ・この部会としては、三輪小学校の統合を意識して議論する必要がある。
 - ・三輪小学校の統合協議は今後どうなる予定か。
- 来年度中（R4）に5校→1校の協議も含めて結論を出したいと考えている。(事務局)

- ・次回日程 令和3年1月24日（月）19時30分～
ライフピアいちじま 研修室

吉見小・鴨庄小の統合後におけるスクールバス運行協議に係る方針（案）

1 スクールバスの台数及び乗車可能人数について

吉見小・鴨庄小の統合後におけるスクールバスの台数は1台とし、乗車可能人数は44人（運転員除く）とする。

※上記は現時点で購入を検討している車両であり、今後変更する可能性もある。

2 スクールバスの経路について

吉見小・鴨庄小の統合後におけるスクールバスの運行経路は、道路の幅員等を考慮し、安全性に最大限配慮する。また、児童の乗車時間を短くするため、効率のよい経路設定を心掛ける。

3 スクールバスの利用者について

吉見小・鴨庄小の統合後におけるスクールバスの利用者は、鴨庄小学校区の児童とする。ただし、鴨庄小学校区の児童であっても、学校までの距離等の事情を考慮し、徒歩通学を可能とし、今後の協議で決定する。

【参考①】鴨庄小学校児童数推移（R3. 3. 31 住民基本台帳データより）

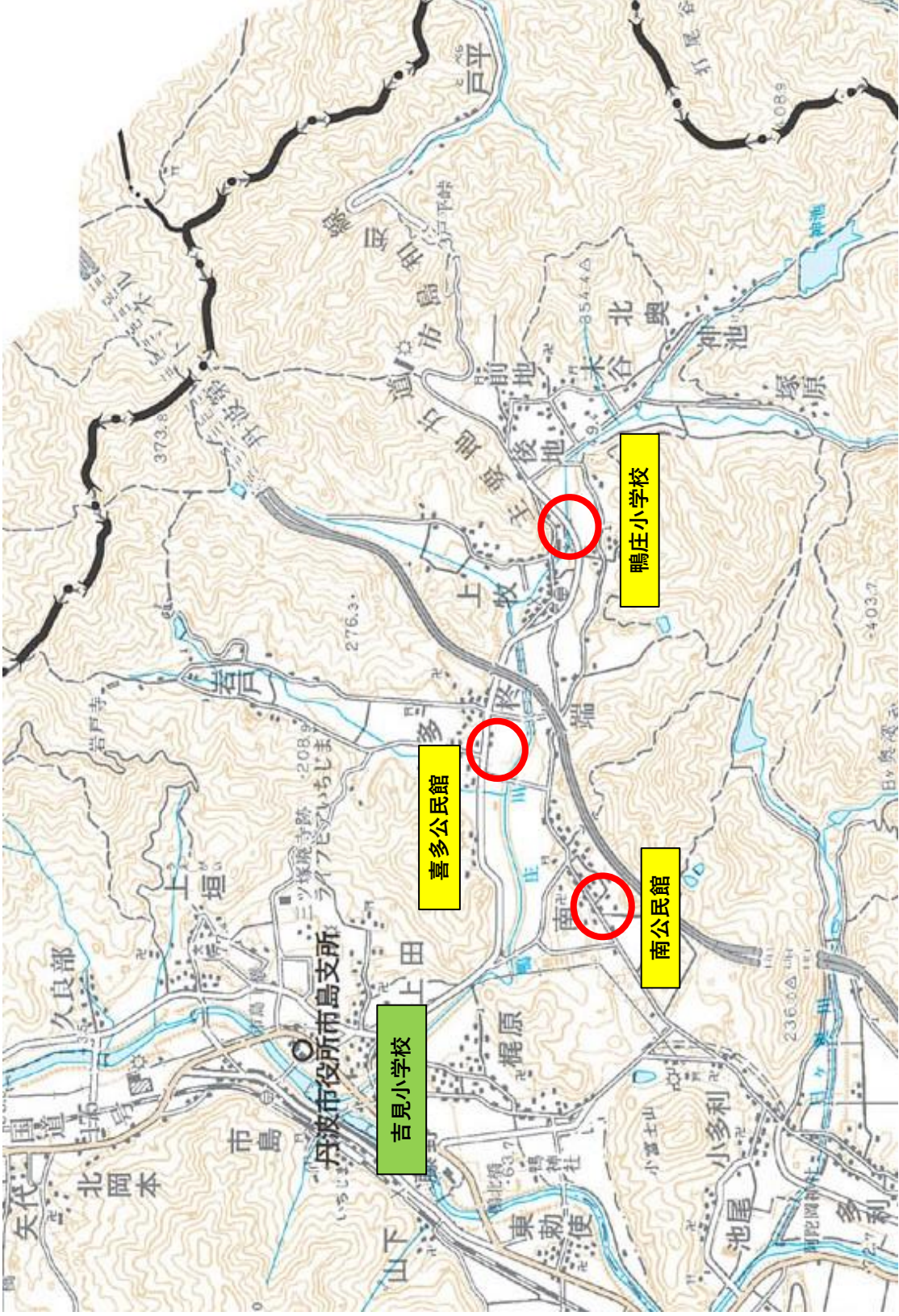
年度	R5	R6	R7	R8
児童数	51	53	53	44

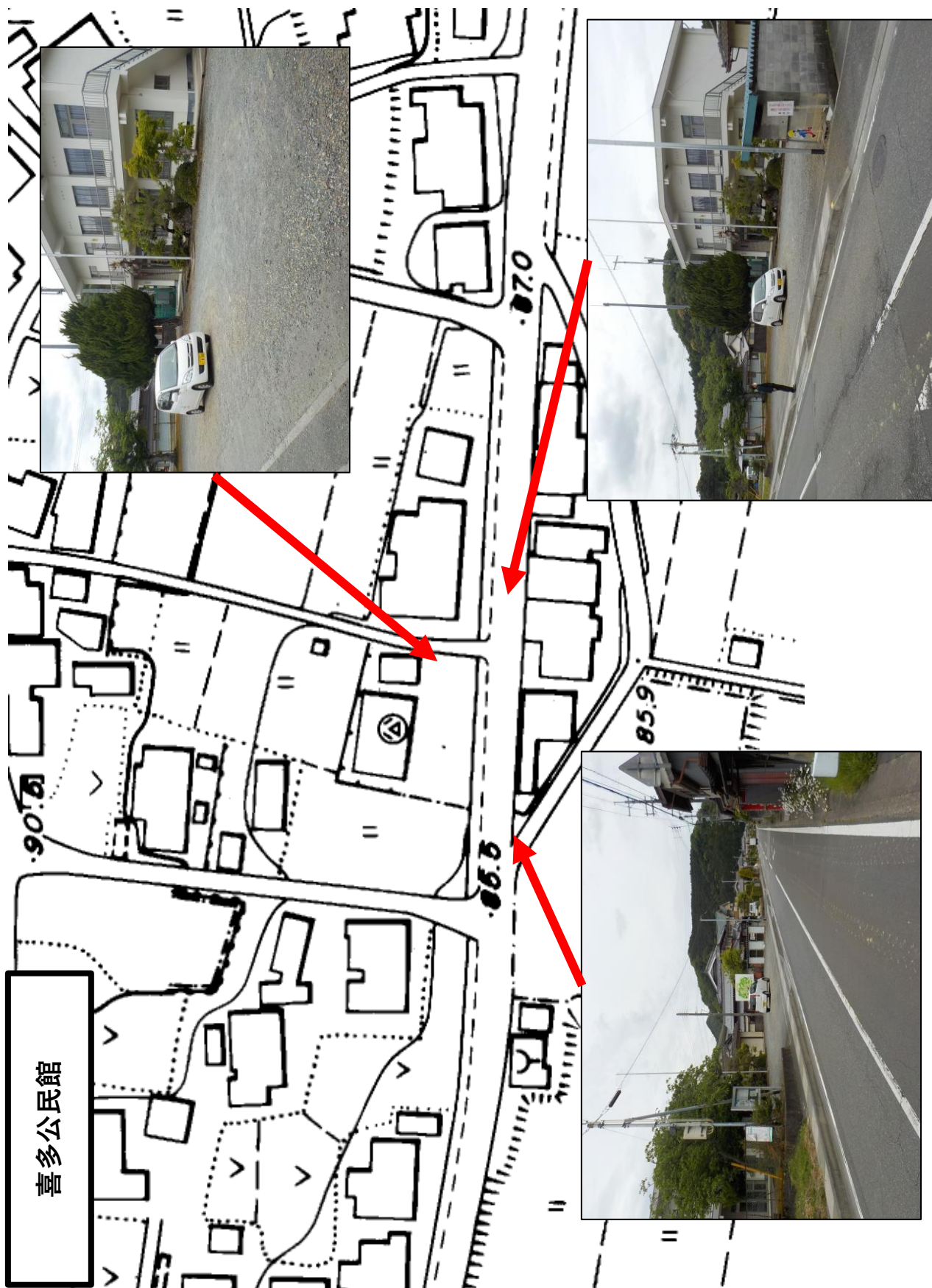
【参考②】鴨庄各地区公民館⇒吉見小までの距離

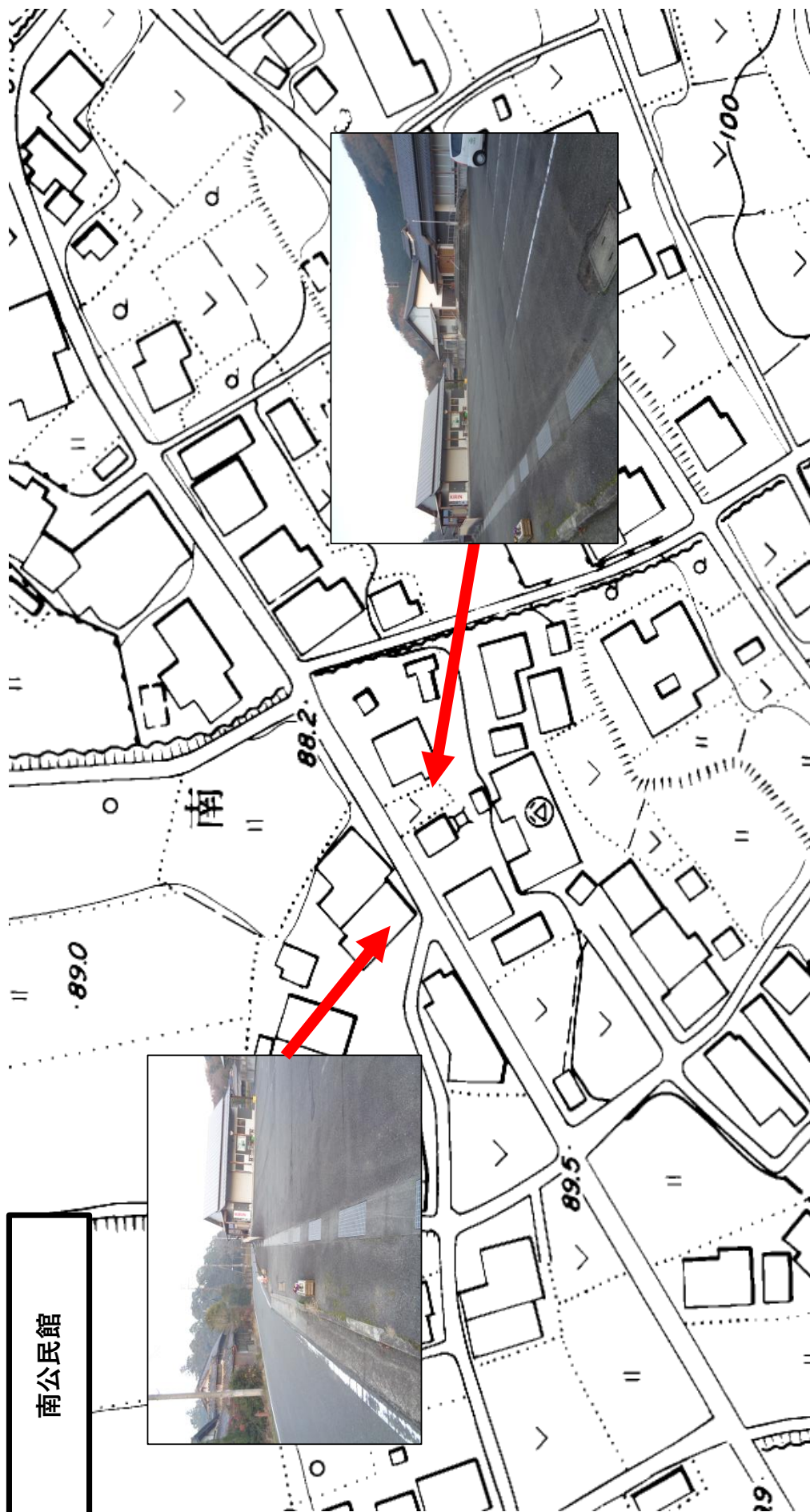
自治会	統合前		統合後	
	距離（km）	時間（分）	距離（km）	時間（分）
南	1.7	22	1.8	21
喜多	1.1	15	2.2	26
端	1.0	13	2.3	27
岩戸	2.4	29	2.9	36
上牧	0.5	5	3.0	36
北奥	0.9	10	4.1	48
戸平	3.1	37	6.5	78
柵	1.1	14	2.5	29

※距離及び時間は、Google map による。

スクールバス停留所（案）







■小学校統合後(吉見・鴨庄)のアフタースクール運営について

アフタースクールについて

保護者の就労などの理由により、帰宅しても家庭や地域社会において適切な保育を受けることのできない小学生を対象に、小学校周辺の公共施設等で生活や遊びを通して児童の健全な育成を図る事業です。原則として各小学校校区単位で実施しています。

□市島地域アフタースクールの現状

名称	実施場所	運営委託法人
竹田アフタースクール	旧竹田幼稚園	(福)竹山愛育会
前山アフタースクール	前山小体育館 ミーティングルーム	
吉見アフタースクール	旧認定こども園吉見こども園	(福)市島福祉会
鴨庄アフタースクール	旧鴨庄保育園	
美和アフタースクール	旧三輪幼稚園	

□現在の登録人数

名称	登録人数 (R3.5.1現在)
吉見アフタースクール	通常34人 長期16人
鴨庄アフタースクール	通常22人 長期3人

□吉見・鴨庄アフタースクール運営の課題整理

項目		2か所(吉見・鴨庄)で実施	1か所(吉見)で実施
施設	条定員	吉見:55人 鴨庄:70人	吉見:55人
	整備改修	現状のまま施設を使用できるが、経年による修繕対応は必要。	利用人数によっては施設改修が必須で、経年による修繕対応も必要。
運営	職員	《職員配置基準》 支援単位ごとに2名以上、30人を超える場合は1名配置する。 《現状》 吉見:2支援単位、職員4人 鴨庄:1支援単位、職員2人	《職員配置基準》 支援単位ごとに2名以上、30人を超える場合は1名配置する。 《現状》※現利用人数による試算 2支援単位(30人超)、職員6人
		費用	2か所を運営するより20%程度費用が抑えられる
	利用登録	どちらか選択できるが、1か所に偏ることも考えられる。	
登所・降所	通常時	《登所》 吉見:学校から徒歩移動 鴨庄:学校から遠距離通学支援(スクールバス等)により移動した後、アフタースクールまで徒歩移動 《降所》 各家庭で迎え	《登所》 学校から徒歩移動 《降所》 各家庭で迎え(鴨庄からは距離がある)
	長期休業中等	各家庭で送り迎え	各家庭で送り迎え
学校との連携、情報共有		学校とすぐに連携、情報共有できる関係を構築する必要がある、アフタースクール間での連携が必要なものも考えられる。	学校とすぐに連携、情報共有できる関係を構築する必要があるが、隣接地で実施していることから連携が比較的スムーズにとれる。 ・当日の利用児童の確認方法を検討(誤ってスクールバスで帰宅してしまうことも考えられる)
その他		・子ども達の友達関係への影響 ・学校からの課題(宿題)に対する影響 ・当日の利用児童の確認方法を検討(誤ってスクールバスで帰宅してしまうことも考えられる) ・アフタースクールでの年間行事(七夕会やクリスマス会等)実施方法の検討	